

こ おとなたの
子どもも大人も楽しめる!

おわりとくがわけ ひな 尾張徳川家の雛まつり

えどじだい だいみょうけ あわりとくがわけ ひめ
江戸時代の大名家・尾張徳川家のお姫さまがもっていた
ひなにんぎょう ひなどうぐ めいじ じだいいこう あわりとくがわけ とうしゅ
雛人形や雛道具、そして明治時代以降の尾張徳川家当主の
ふじん ひなだんかざ しょうかい
夫人たちの雛段飾りを紹介します。



ひな 雛まつりとは



いぬはりこさん

「桃の節供」「上巳の節供」とも呼ばれる雛まつりは、3月3日に
行われる春の訪れを告げる年中行事です。今では男女一対の雛人
形を飾り、女の子の成長と幸せを祈りますが、雛人形が主役の行
事となったのは江戸時代の初期と考えられています。天皇家や將
軍家の高貴な女性たちによって盛大に催されるようになりました。公家や
武家、そして庶民へと広まっていきました。

ひなにんぎょう 雛人形

かねひめ ゆうそくびな 矩姫の有職雛

だいみょうけ ひめ ひとり
大名家のお姫さまは、1人でたくさ

ひなにんぎょう
んの雛人形をもつことがありました。

ふくしまけん だいひょうけ う ひめ かねひめ たか
福島県の大名家生まれのお姫さま・矩姫は、高さ30センチくらいの大き
ひなにんぎょう つい ちい ひなにんぎょう つい つい
な雛人形5対と、10センチくらいの小さな雛人形を5対、あわせて10対(20
たい
体)もっていました。

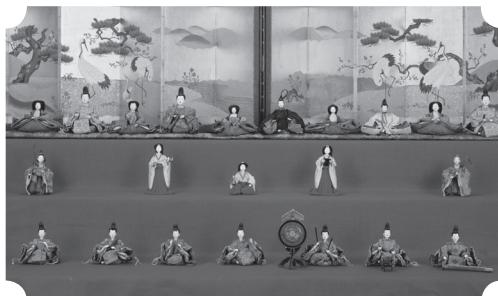
ひなにんぎょう との せいしつ つま こ く おく よ ぱ
雛人形はお殿さまの正室(妻)や子どもたちが暮らす「奥」と呼ばれる場
しょ かざ はたら じよせい まいとしたの かねひめ
所に飾られ、そこで働いている女性たちを毎年楽しませていました。矩姫
こ がた ひなにんぎょう はこ い み ご ないしよう
の小型の雛人形の箱には、プライベートという意味をあらわす「御内証」と
か み ぢか ば しょ かざ かねひめ じ しん
書かれています。身近な場所に飾られて、矩姫自身もゆっくりながめてい
たかもしれません。



かねひめ ひなにんぎょう ゆうそくびな よ
矩姫の雛人形は、すべて有職雛と呼ばれるタイプです。
ゆうそくびな きょうと てんのう つか く げ き ぞく ふくそう
有職雛は、京都で天皇に仕えていた公家(貴族)の服装の
そ づく そく い ふく き
ルールに沿って作られています。男雛・女雛が色々な装
束(衣服)を着ているのは、フォーマルからカジュアルまで、
ティーピーポー あ ふくそう か
TPOに合わせて服装を替えていたからです。

まめ 知識

ひなだん てんのう こうこう
雛段には、天皇・皇后をイメージし
あひな めひな きゅうてい つか さん
た男雛・女雛のほか、宮廷に仕える三
にんかんじょ すいじん がつき
人官女、ボディーガードの隨身、楽器
さんぞう こにんばやし ざつようかき しおう
を演奏する五人囃子、雛用係の仕丁な
にんぎょう かざ
どの人形が飾られます。いろいろな飾り
かた えど じだい あひな
方がありますが、江戸時代には男雛を
む みぎ めひな ひだり かざ
向かって右、女雛を左に飾りました。





ひなどうぐ 雛道具

よめいどうぐ
お嫁入り道具と
み見くらべてみてね!



さちぎみ しゅるい ひなどうぐ 福君の2種類の雛道具

ひなどうぐ ひめ よめい
雛道具はお姫さまのお嫁入りの
道具のミニチュアです。例えば旅
行のための道具や、お化粧の道具
など、お姫さまが
身の回りで使う道具
が雛人形のために
も作られました。

その1 だきば たんもんちらしまきえ ひなどうぐ 抱牡丹紋散蒔絵雛道具

だいすかいく ちゃぼうすにんぎょう
台子皆具・茶坊主人形



まめ知識

よめ ひなどうぐ
お嫁入り道具のなかでも特に大切にさ
れていた道具は貝桶です。貝桶は貝を入
れておくための箱です。貝は貝合せという
ゲームで使います。

かいあわ
貝合せは、はまぐりの貝がらをバラバラ
にして、ペアを探すゲーム。別の貝がら同
士ではうまく合わせられないで、仲良し
ふうふ しょうちょう
の夫婦の象徴とされました。

その1 きくおりえだまきえ ひなどうぐ 菊折枝蒔絵雛道具



くしдаい
櫛台



のりもの
乗物



さちぎみ くげう
福君は公家に生まれたお姫さ
さいとき おわりとくがわけ
まで、18歳の時に尾張徳川家
よめい さちぎみ
にお嫁入りしました。福君の雛
道具は金や銀がたくさん使われ
ていく、とても豪華です。金色
の道具(梨子地)が使えるのは
とくべつ だいみょうけ
特別な大名家だけでした。





おわりとくがわけ
尾張徳川家 ひなだんかざ
三世代の 雛段飾り



〈 19代当主夫人・米子 〉

〈 20代当主夫人・正子 〉

〈 21代当主夫人・三千子 〉

めいじ　たいしゅう　しょうね　じだい　あ　わりとくがわけ　さんいん　とうしゅ　ふ　じん　ひなにんぎょう
明治・大正・昭和時代の尾張徳川家の三人の当主夫人たちの雛人形・
ひなどう　ぐ　お　わりとくがわけ　じっさい　かざ　ほうほう　さいげん
雛道具です。尾張徳川家で実際に飾られていた方法を再現しています。



え　ど　じ　だい
江戸時代には、この雛段のように雛人形だ
ひなだん　ひなにんぎょう
たいたい
だけでなく、いつも大切にしているお人形や、
どうく　いっしょ　かざ
お道具と一緒に飾っていました。

け　づく　にんぎょう
毛作り人形



まいて　は　こ　け　な
絹糸を貼り込んで毛並み
ひきばん　いぬ　さよ　さる
を表現した、犬や兔・猿
にんぎょう
などのお人形。



ご　しょ　に　ん　ぎ　う
御所人形

いぬ　がた　い　つい　おきもの
犬の形をした一对の置物で、
いぬばこ　よ　こ
犬笛とも呼ばれます。子どもが
う　とき　ぶ　じ　そ　さい　いの
生まれる時、無事息災を祈って
まらもと　ま　枕元に置かれました。



いぬはり　こ
犬笛子



しろ　つや　はだ　おとこ　こ　にんぎょう
白い艶やかな肌の男の子のお人形。
え　ど　じ　だい　かん　さい　み　や　け　ひ　ん
江戸時代には関西のお土産品とも
なりました。



尾張徳川家の雛まつり

会期 2026年2月7日(土)～4月5日(日)

主催 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・中日新聞社